学校番号	３１８

令和８年度　理科

教科	理科	科目	（学）理科演習	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「化学基礎」「化学」　（数研出版）						
副教材等	リードLight ノート化学　（数研出版） 新課程大学入学共通テスト　チェック＆演習化学（数研出版） フォトサイエンス化学図録（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年次２年次に履修した「化学基礎」「化学」の発展的な内容である。振り返りをしつつ学習の内容を深めていき、大学入学共通テスト、大学・短大の入試に対応できるような力を身につける。１年次、２年次と同様に身近な例を取り入れながら科学的な思考を基礎から定着させる。そのために生徒実験を多く取り入れ、実験を通じて化学変化や、物質のあり方を学習し、論理的、科学的考え方を身につけていく。

2　学習の到達目標

（ａ）日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化への関心を高め、目的意識を持って観察や実験などを行い、その知識と技能を身につける。
（ｂ）観察や実験などを行うことで化学的に探究する能力を養う。実験結果等の図表を読み解く能力を養う。
（ｃ）物質とその変化に主体的に関わり、化学的に探究しようとする態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ科学的な見方や考え方を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識の習得や知識の概念的な理解、実験操作の基本的な技術の習得ができているか。	習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか、自ら学習を調整しようとしているか。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	化学平衡	電解質水溶液の化学平衡	a:電解質水溶液の化学平衡を理解している。 b:電解質水溶液の化学平衡の発展である、塩の加水分解でのpH、緩衝溶液のpHを説明することができる。 c:実験や発展課題を主体的に取り組むことができる。	定期考査 パフォーマンス課題	定期考査 パフォーマンス課題	学習状況の観察 プリント/副教材の記述 実験の取り組みなど
	無機物質	無機化学全般	a:非金属、金属、金属イオンの全般的知識を理解できる。 b:無機化学について、結果を考察しながら実験・実習を進めることができる。 c:無機化学全般について、実験・実習・学習を主体的に取り組むことができる。	定期考査 パフォーマンス課題	定期考査 パフォーマンス課題	学習状況の観察 プリント/副教材の記述
2学期	有機化合物	有機化学全般	a:有機化合物の全般的知識を理解できる。 b:有機化合物について結果を考察しながら実験・実習を進めることができる。 c:有機化学全般について、実験・実習・学習を主体的に取り組むことができる。	定期考査 パフォーマンス課題	定期考査 パフォーマンス課題	学習状況の観察 プリント/副教材の記述
	高分子化合物	高分子化合物全般	a:高分子化合物の全般的知識を理解できる。 b:高分子化合物について結果を考察しながら実験・実習を進めることができる。 c:高分子化合物全般について、実験・実習・学習を主体的に取り組むことができる。	定期考査 パフォーマンス課題	定期考査 パフォーマンス課題	学習状況の観察 プリント/副教材の記述
3学期	入試対策	入試対策	a:化学全般の知識を理解できる。 b:問題集・入試問題を解く力を身に付けている。 c:問題集・過去問を積極的に、自主的に解答する。	定期考査 パフォーマンス課題	定期考査 パフォーマンス課題	学習状況の観察 プリント/副教材の記述

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度